

グループホーム かけはし

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念 「自由に選択し、自由に生きる」残存機能を最大限に尊重し、自立を支援するという理念に基づいて本人の希望することを趣味の時間に組み入れて時間を過ごしている。	1	4項目ある理念の中で の感謝の気持ちを大切にすることであることを大事にし、入居者さんがお茶わん拭きや掃除をしてくれたらスタッフ皆で「ありがとう」の感謝の言葉を使う。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常の会話の中にやりたいことや行ってみたいところを聞いて、行事や記念日に本人の希望していることを取り入れる。	1	いくら本人が希望してもすぐ行動に移せるものなのかどうかを慎重に検討し、無理強いすることなくこちらに負担になることもなく、できるときに自然に取り入れている。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	季節的に行う行事には例えば「花見」や「野球観戦」などどうしても地域の方々の協力がないと実行できないものは場所を提供してもらったり、手を貸してもらったりと弱い立場の人を大切にしている。	1	面会に訪れた家族に協力を得て、外に連れ出してもらったり、外食に誘ってもらったりと外との接触・雰囲気味わってもらおうようにしている。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
			4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気軽に立ち寄ってもらうことはまだできないが、近隣方々とは気軽に挨拶ができていると思う。	1
		5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くに気軽に参加できる地域活動があまりないので、参加をしたことはこの一年ないが、楽しい事には参加をしていきたい。	1	参加する機会や場面を見つけ、交流の場を拡大していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	民生委員さんと相談、情報をいただき役立つことに取り組んでいきたいがまだ十分できていない。	1	体力のある入居者や、やる気のある入居者の士気を高めるために書道教室にボランティアの先生がグループホームに来ていただき教えていただいている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を行うことによって、マンネリ化したグループホームの中に少しでも入居者様の安心安全につながるよう意識が動く。	1	最初は戸惑ったが、今では外部評価に備えて少し困難だけれど改善していこうという自己啓発になっている。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	なかなか得ることのできない外部の情報をいち早く得ることができ、行政の方々とも横のつながりとして顔なじみの関係になれて良好である。	1	運営推進会議に出た意見は大変貴重な意見が多く、はじめは2ヶ月に1度は多いと思ったが今は適切だと理解している。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	「西区の福祉、医療関係者の集い」が最近開催され、行政の取り組みに横を広げて足並みをそろえて福祉に取り組む姿勢が感じられとても良いと思う。	1	今まで電話の声だけで顔を見ることもなかった人の顔が見え、その方々の意見が身近に聞くことができる。このような会はもっと増やしてもらいたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	行政に赴いてパンフレットや運営推進会議や弁護士会の報告会に出席させてもらって情報をいただいている。	1	グループホーム内では、ご家族に相談を受けたとき、パンフレットを見ていただいたり、区役所や地域包括の相談係の方へと誘導している。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	おむつ交換時、入浴時、入居者の身体観察を行い、不審なアザや傷がないか常に注意を払っている。	1	職員間の摩擦がないように連帯感を強め、相互でアザや傷の早期発見に努力している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7		
理念に基づく運営	4	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の権利義務を契約時に説明文書や契約書等でわかりやすく説明し、理解・納得を得ている。	1	利用者や家族が不安や疑問に思う点を時間をかけ説明する。納得いくように説明できる十分な知識と資料を備えておく。
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2階フロア事務所の壁に福祉苦情相談窓口のポスターを貼り、アピールしている。	1	公的な苦情相談窓口と、施設内に設けている苦情相談窓口と相談箱を利用してもらえるように設置している。
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや健康状態は電話で報告することが多いが、面会にご家族が来られたとき、詳細な報告をしている。	1	定期的というより、何かことがあるたびに電話で連絡をしている。年4回「かけはだより」という広報誌を発刊する事とし、今年1月創刊号を発刊した。
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等から直接苦情を聞けるように、面会の時や電話で近況を報告しているときに一言添えている。出た苦情は経営者に通し担当の職員と共に会議で共有・解決する。	1	カンファレンスや担当者会議で意見・不満・苦情を提出し、議論し、消化している。
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンス会議に意見や提案を出してもらい、検討する。	1	ケース会議、担当者会議、カンファレンス会議と意見を聞く機会は充分あるので、すぐできるものは改善し、長いスタンスのものは少しずつでも取り組んでいっている。
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の希望シフトを10日、20日と月2回に分けて提出し、15日分ずつシフトを組んでいる。柔軟に対応できることを目標に勤務調整している。	1	職員ひとりひとりの特性を活かし、バランスのよいシフト調整にこれからも努めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の不満や希望を聞き、なるべく離職や異動は抑えられるように努力している。	1	職員の意志を尊重すると離職は抑えられないこともある。職員を守ることに徹しているのだが、大変難しい。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	6	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別や年齢などにこだわることなく、採用にあたっては条件としてあげるとすれば人間性を第一条件とし利用者を大切にしてくれる人を考えている。	1	年配のベテラン職員が若い職員をうまく引っ張って導いており、若い職員はきびきびと動きベテランをカバーと、きちんと調和がとれており、自己実現の権利も保証されている。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者様の個別ケアに徹し、呼び方、言葉遣い、対応の仕方など充分注意している。	1	セミナーや講座出席をうながし、人権教育や啓発活動の勉強に勤しんでいる。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	技術や知識のレベルアップに研修や講座を受けるようにボードに情報を貼り、職員の意識を常に向上するようもっていく。	1	研修を受けてレベルアップした者は、発表・報告の場を持ち、報告書も提出し自己啓発にもつなげている。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流会やネットワークづくり、勉強会の情報をうち出して、参加を押し進めてくれる。	1	交流会に出席することでネットワーク作りができて仕事がうまくできるようになった。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	困ったこと、苦しいこと、悩んでいることなどひとりため込まないで、とにかく話してもらえるようにひとりひとりを注意して様子を見ることで解決している。	1	となりが「いしむら萬盛堂」という甘味屋なので、サロンに行ったらコーヒーを飲みながら話を聞く体制をとっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	本人の特性、特質を理解し良いところを活かすべく配置したり、シフトを組んだり行事の運営役に取り組んでもらったりと向上心で働けるように努めている。	1	職員が働きやすい環境にいられるべく、常に目を配り様子を細かくチェックしている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	「グループホームかけはし」は建物設備が古いのので、その点をよく理解していただき、それをふまえたうえで、利用に至る困ったこと、不安なことを聞くようにしている。	1	何度でも納得していただけるまで見学をしていたいただき、ほかの入居者様の様子を見ていただいたり、職員の様子を見ていただいたり時間を十分とっている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	このホームの良さと悪しき点を提言し、納得していただく。不安なことや求めていることをひとつひとつ解決していく。	1	このホームに大切な人を預けても安心だ、大丈夫だと思っていただけるようにお話を聞き、こちらの条件も納得していただく。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」の本質を見極め、何が一番必要とされているかを感じることが大切だと思うのでここではないと判断したら他のサービスも対応の中に入れる。	1	ご家族と一緒に何のサービス利用を捜すお手伝いをする。
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホーム入所をしたら、数週間は慣れるまで不穏になるのでご家族に協力をしていただき、数多くの面会をお願いしている。	1	ご本人の様子が落ち着かれるまでこちらで詳細の情報をお知らせするとともに、ご家族にも頻りに面会に来ていただき、安心感を与えてもらっている。
	2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	6	
2	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物たたみや掃除、テーブル拭き、茶碗拭きなど職員と一緒に仕事をする事で自分は必要な人なんだと認識していただく。	1	DVD映画を観たりテレビでのど自慢番組を観たりして一緒に笑い、一緒に歌う良い関係を作っている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	なるべく施設内の様子をお伝えし、こちらからも困ったときは電話で対処してもらい、「預けている」という感じを少なくし、皆で支えているという関係にもっていている。	1	何かあるとすぐにとんで来てくれるということで、こちら側も安心感があり、家族と施設で相互支え合っているという信頼感がある。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	かなりこじれている関係になっている人にはこちらが入ることによってもっとこじれることになりそうな時は時間が解決してくれるのを待ち、時間をかけて双方の言い分を聞き、間を置く。	1	"預けた"、"預けられた"という誤解を解き、介護の軽減でご家族に気持ちや時間がゆったりになった分、やさしい気持ちで面会に来ていただく。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	この項目は、支援ができていない人とできていない人と大きく分かれるが、可能な範囲で可能な限り馴染みの場所にドライブに連れて出る支援をしている。	1	本人が希望された時に車で出かけて行く方法をとっている。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	自室にこもることなくリビングに誘導し、大きなソファに座っていただくと、4～5人が一列に横並びになり隣同士で交流できるように支援している。	1	ひとりひとりの時間も大切にさせていただいてますが、10時や3時のおやつや水分補給の時間、休憩・くつろぎの時間にはリビングに出てきていただいて皆で共有の時間をすごすようにしている。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られた人を定期的に面会に行き、様子をつかがうようにしている。重篤になって入院された人ともお顔だけでも見ることができるよう訪問している。	1	ご家族とはなかなかお会いすることはできないが、利用者だった方は定期的にお顔やご様子伺いに出向いて確認をとっている。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族から強い要望があった時は相談にのり、自分の手に負えない場合は区や市、県、地域包括センターに相談して希望、意向に添えるように努めている。	1	リハビリ中心の施設に移りたいと利用者のご家族から相談があり、リハビリをして動くようになるなら母の体を元気にしたいと強く望まれたので、地域包括センターに相談、施設の一覧表をいただき片っ端から電話して受け入れ先を決めた。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際、詳しい聞き取りをご家族から取り、入居後本人からアセスメントを取って把握に努めている。	1	今まで過ごしていた家の周りの方や、家族の知人など生活環境にそくして少しずつ回りから聞いて馴染みの暮らし方をせばめていく。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ひとりひとりにゆっくりと時間を取ることは困難であるが、担当の職員に時間毎にアセスメントをとり、それを継ぎ合わせて総合的に把握するようにしている。	1	少しでも時間があればひとりひとりを共有する時間をもつようにこころがけている。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成するにあたってはかなり本人を知る必要があるので時間をかけて家族、本人と面談を重ねると共にその人を介護する介護者とも担当者会議、ケア会議を繰り返して作成している。	1	まず本人を見て介護計画を作成するときもあり、その時点での計画書はアセスメントが変化した時点で再アセスメントをする。
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	一応短期3ヶ月の計画書としているが、状況が変化した時点で担当者会議を開き、随時現状に即したプランを作成し直している。	1	高齢者は状況が安定していることはあまりなく、せわしなく計画書を作成しなおすことがある利用者もいる。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録を時間ごとに記録して様子がわかるようにしている。個別ケア記録も作成し、個別にひと目で処方・処理の仕方、通院・実践の仕方がわかるようにしている。	1	個別ケアは特に必要な時のみ申し送り部分に日誌を利用して書いていたが、ケア記録の前の部分に個別ケア日誌を新たに作成しすぐその人が理解、把握できるようにしている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 した多機能を活か	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望する時に必要に応じて買い物、散歩、外食等支援する。	1	H22.1.9(月)も帽子をかぶり、外出の用意をした入居者(男性)が「果物と菓子を買いたいので西鉄ストアーに連れて行ってくれ」と言われて来たので、車で一緒に出かけ買い物を楽しんだ。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ここは施設及び設備が老朽化しており火事になると大変なことになるので、消防訓練の時は「絶対火を出さないこと」と言われる。無断で外に出る入居者はよく警察にお世話になり協力を得ている。	1	どんなに外に出ないように工夫していても無断で外に出てしまう入居者がいて大変困っている。敷地内で見つけても玄関から入ろうとしなかったり近所の方に応援してもらったこともある。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	独居の高齢者が認知症が進行してひとり生活が困難になり、居宅担当のケアマネを通してグループホーム入所というかたちが成立するケースがある。	1	常に他事業所のケアマネと連携をとりながら認知症を伴う独居高齢者を孤立させないように支援していきたい。自分のいる施設がダメなら他の施設が紹介できるようにしておける体制をとりたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターにはわからないことがあるとすぐとんでいき、よく利用させてもらっている。	1	リハビリ中心の施設を希望の方、暴力的な入居者対応ができないので、他の施設か病院を教えてください。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日の様子と明らかに違う状態の時、社長・かけはしの院長に相談、指示を受けて受診となる。	1	提携病院で認知症患者の手術、入院はお断りと言われすごいショックを受けた。わめいたり暴れたり他は他の患者の迷惑になるという理由である。では認知症の人はどこで治療を受けたらいいですか？
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	グループホームなので認知症の診断を受けて入所してくるので、入所前から服薬をしていた認知症の薬は継続してもらいたいの、引き続き受診をしていただき、その支援をする。	1	基本的には家族に受診のご協力をお願いするが、できない場合は職員が支援する。ご家族にも病院の把握をしてほしい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師さんに看護部門を担当してもらい、医療的に介護士ができない部分が多くあるので、常に相談しながら状態を把握してもらう。	1	カーデックスの活用で個別的に医療的ケアがすぐわかるようにし、状態の悪化を防止している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	たびたび病院に足を運び、主治医や担当者とお話をすることで退院の時期を知ることができ、受け入れる側も部屋の準備をして早く退院できることを応援する。	1	早く退院を促してぶり返してもいけないので、本人の状態を見ながら病院と相談の上決定する。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	グループホーム内で終末期の方の看取りをしたことは例としてないが、入所契約時に看取りの介護項目を話し合い、ご家族とは共有できている。	1	重篤になる前に病院入院になるので、看取り介護をしたことは今までに1度もないが、本人の希望でどうしても終末期グループホームでとなった場合、昨日にそいたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かけはしの院長がグループホームの上の階に住んでおられるのでいざというときには対応できる準備はできている。	1	状態が重篤となると、やはり病院ではないのでできない事の方が多く、救急車がかかりつけ医に搬送している。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む際には何度も現地におもむき十分話し合い、情報交換を行い、お互いに理解しあうことで次に任せられる信頼関係を築き、ご本人を説明をし、納得がいくまで話し合う。	1	現場にも足を運び目で確認して安心した上でご本人に説明する。ご家族と密に連携を取っていく。不安を取り除くために、日頃のコミュニケーションを重視している。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	30		
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	グループホームに長年いると親しみがわき、ついため口になっている職員もいるが、距離をおいて職員と入居者の立場を保っている。	1	家庭的雰囲気大切にすると言葉かけが気安くなってしまいが、それを改めると片ぐるしくなるので、時にはため口も黙認している。記録や個人情報は職員部屋の奥においている。
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が理解できてもできなくても必ず説明をする。ご本人様の希望が言葉で表現できるように日頃から信頼関係を構築しておく。	1	希望や意思表示をすることが困難な人、全くしない人もいるので働きかけて声を出させるように仕向けている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	9人いるので、その日にすべてペースを合わせることが困難な時もあるが、ひとりひとりのペースを大切にしていきたいとは思って支援している。	1	なかなかやる気を出せない入居者様がいるので、声かけしたり工夫をしたりで笑顔を出させるように1つの目標にしている。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみは朝の更衣時にご本人様がだいたい決定するが、洗濯したものの中から上から順に着ていく場合もあり、その日の洋服は本人が決定する。	1	美容は月1回木曜日に通いの美容室の方が訪問して髪を切ってくれる。出かけられる人は行きつけの美容室に通わせている。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	キッチンがリビング内にあるので調理を始めると音やにおいが施設内に広がり、食欲をそそり、お手伝いがしたくなる環境である。元気な入居者はいつも自分の仕事のように茶碗洗い、茶碗拭きとお手伝いをしてくれる。	1	職員と入居者が一体化して食事準備や片付け、盛りつけ配膳、下膳など「あうん」の呼吸で動いてくれる。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者2人、飲酒する人1人と入居しているが、所定の場所で喫煙していただくように決めている。	1	火の管理は職員がきちんとすることを納得してもらい、喫煙の許可を出している。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中はなるべく施設内のトイレに誘導し、おむつは夜間に使用するようにしている。	1	入眠剤を使用している人もいてなかなか夜間起こすことが困難なのでおむつ使用をしている。男性の方でしびんを使用している方もいる。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応週2回という決め項目はあるが、排泄の加減や病院受診の前日、本人の希望があるときなど随時入浴している。	1	排泄の加減では時間も何も考えず入浴準備をする。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ひとりひとりのニーズに応じて昼夜逆転しないように常に声かけをし、生活にリズムをつけ夜安眠できるように支援している。	1	休息したいと自分の部屋に戻られる人もいればソファでくつろがれながら休まれる人もいて一人一人の休息を大切にしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カラオケで歌ったり、書道教室で字を書いたり、絵を描いたり、塗り絵をしたり、となりにコーヒーを飲みに行ったり、散歩したりと対応している。	1	職員と仕事を共有することで役に立つ喜びや社会的貢献度が満足を得ている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金が使用できる入居者は買い物に行き、品物を選んだりレジを通ることで楽しさを味わっている。	1	認知症になってもお金を所持し、買い物でお金を支払うことをすることは必要不可欠なことであり、本人が望めば支援する。
		63 外部評価28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外に出たいと希望する時、よほどの理由がない限りすぐ対応できるように支援している。	1	職員と共に買い物、散歩、行事に参加することで戸外に出る機会が多い。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の協力が得られないとなかなか実現できないが、墓参りや外食、家族の見舞いなど実現できている。	1	家族と連絡が取れなくなった入居者が家が気になり無断で外に出たがるので、落ち着きがなくなったら昔家のあった場所に一緒に行く。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は本人がかかけたいと言われたら番号を推して受話器を渡し話すだけの設定はできるが手紙はまだ要望がない。	1	「家に帰りたい、息子や娘の家に電話をしてください。」と電話帳を持って頼みにこられる時は、電話で話せるように支援している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時間を設けていないのでいつでも自由に訪問していただけるシステムにしている。	1	夜間も自由に来ていただけるが一応事前の連絡があれば2F、3Fの出入り口を開けておける。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解しているが、アレルギー性湿疹で体中をかきむしる人とすぐ服を脱いで裸になる人の2人に拘束服を着用してもらっている。毎月拘束時間短縮会議を開いている。	1	季節によっては拘束服を着せなくても良いときがあり、職員にも着用する人とさせない人として拘束服着用時間が減少してきている。夜間の場合もある。	
		68 外部評価29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	何から何でも無断で外出し気になる家を見に行く人がいるが、いくら見守りしても巧妙に出て行ってしまうので、階段鍵をつけ玄関には暗証番号式の鍵を取り付けている。	1	その方の様子を常に観察し、時にはその方の希望する外出を共にし、落ち着くことができれば鍵をかけていないケアに結びつくかもしれない。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	いつも目で追い行動を把握するようにしている。	1	病院を改装したグループホームなので見守る範囲が広いので職員が走り回らないといけない時もあり、食事準備に入るとけっこう把握が困難になる。夜間は巡視の強化を行っている。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	事務室のカウンターの上には何も置かないようにしているが、本人の部屋に危険物があるときは本人の了解を得たうえで預かり保管している。	1	直接身に危険が及ぶ物以外はあまり神経質にならずに所持してもらっているが、見守りは常に怠らないようにしている。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者ひとりひとりに応じた対応の仕方を話し合い実行している。	1	転倒の危険性のある方には常に側につき一緒に歩行する。窒息や誤薬は見守りを強化、行方不明になる人には脱走をしないように常に行動監視、ドアの開閉のたびに鳴る鈴をつける。喫煙者には所定の位置で吸ってもらい、火は職員が管理している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	上の階に医者が常住しているので、安心しているためか、応急手当や初期対応の訓練は定期的には行えていない。不定期にはやれている。	1	これから場合に応じた処置の仕方を指導を受けながら定期的に行いたい。救急救命の講座も年に2回は受けたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	グループホームの建築は丈夫にできており、駐車場、敷地も広くとっているので地域の方々から協力を得られやすいと思う。日頃からお願いをしている。	1	防災訓練も西消防署の方に来ていただき行っているが、入居者全員が避難するのはとても困難で時間がかかる。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	高齢者の状態は日々変化するのでリスクは常々お話ししている。	1	家族には電話でお話したり、面会時でお会いしたり細かく詳しく話し合うことにしている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異変に気付いたとき、その日担当フロア職員全員と話し合い、社長(経営者)に報告。速やかに対応して病院受診を行っている。	1	もっと早急に病院受診の運びになればと思う。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	たくさんの量を服用されている方がいて仕分けに困難をきたすが、薬用BOX、朝、昼、夕、就寝前と仕分け袋を作りきちんと服薬の支援をしている。	1	用法や用量の理解をしており、少しでも疑問に思うことは主治医に電話をして聞いている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便表を記入し個々の状態をチェックしている。それに応じて水分補給や食事内容のチェックを行っている。	1	運動はできる方とできない方がいるので、できる限り施設内歩行も生活リハビリとして取り入れ動いていただいている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	洗面後の人、食後の人、個別にケアが行われ、嫌がる人もいて難しいがなるべく口腔ケアが行え、清潔保持ができそうに支援している。	1	歯ブラシを口の中に入れることさえ困難な人もいて口腔ケアの難しさを実感しているが、大切さも実感しているので工夫したい。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ケア記録に＜食事摂取量＞朝、昼、夕を記録し状態を感じている。水分量は特別主治医より指示のある方には飲む都度分量を記入し1日分を計測している。	1	あまり無理強いはいらないが、これだけは摂取してほしい量はいろいろ声をかけをし、工夫して摂取してもらうように食事介助支援をしている。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは病院併設なので院内で接謝可能。その他の感染症にはマニュアル書に添った手順で対応している。	1	看護師さんや感染症研修に出席した人が会議上で職員全員に理解できるように指導をし、実行を促している。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁、調理用具を使用前にそのつど熱湯消毒を行い使用する。食材は生では使用しない。	1	調理器具を清潔に保管できる食器棚があればと思う。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己 82～89・外部 32～33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82～86・外部 32～33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	「かけはし産婦人科」入り口の右隣に小さくグループホームの入り口がある。わかりづらいが入り口付近にはメダカの水槽やプランターなど利用者や家族、近隣の人が入りやすく工夫はしている。	1	病院併設ということで少しかた苦しい感じがあると思うので、花の咲く植物をプランターに植えたり、植木をきれいに剪定したりして明るいイメージにしている。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に季節毎に書いた絵を貼り、季節の花を活け、花の香りや色で季節を感じていただけている。趣味の書道の字や塗り絵、行事の写真等も飾られて目で楽しんでいる。	1	朝、昼、夕と三度の食事の準備で野菜を切る音、魚を煮るにおい、肉を炒める音、ご飯の炊けるにおい、温かなゆげ等が入居者の五感を刺激している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファは4～5人掛けが1席と丸テーブルと自由にどこにでも座れるようになっている。その日の気分によって席の場所が決まる。	1	食卓の大きなテーブルには座る位置にシールが貼ってあり、一目で自分の席がわかるようになっているので、ひとりの時間を持ちたい時はソファではなく食卓の椅子に座っている人が多い。	
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一部屋の広さが大きいので、使い慣れたものを持ち込めるスペースがあり、今までの自分の家のようにしている入居者の方もいる。	1	仏壇や配偶者の遺影を持ち込んでいる方もあり、毎朝きちんとおがんでいる。机や本箱を持ってこられた人はくつろぎの時間には読書をしたり文章を書いたりされている。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	どうしても気になるにおいはあるので、定期的に換気に努めている。	1	調理をすると料理のにおいが漂うので、喚起に努めて熱がこもらないようにこころがけている。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87～89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	昔産婦人科病院の病室を改造しているので、一部屋一部屋が広く、フロア全体も広い。使い勝手は悪いが自立した生活がおくれるように私物を多く持ち込め、自分の家にいるみたいに生活できる。	1	風呂場がせまく介護者が入居者とゆったり入浴できるように広めに改造してほしい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自室に名前プレートを下げ、トイレや洗面所、風呂場など大きく名称を書いた札を下げて場所がわかるように工夫している。	1	入居者の皆さんはひとりひとり自分の名前の入った名札プレートのさがった部屋に入り食卓テーブルにも名前書いたシールを貼っているので迷うことなく所定の位置につく。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りは結構広いので、季節の木々、花を眺めたりできるので、天気の良い日は散歩に利用している。ベランダはプランターに花や野菜を植えている。	1	入居者と種をまいたりして植物の育つ過程を観察して楽しみ、実った時には収穫の楽しみを味わっている。時々料理にも出て舌で楽しみを味わっている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	3	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。